

## 1. 開催フレーム

### 1-1. 名称

第 32 回全国都市緑化あいちフェア

・愛称は公募により決定する。

### 1-2. テーマ

#### (1) 全国都市緑化フェアの統一開催テーマ

『 緑豊かな街づくり  
～窓辺に花を・暮らしに緑を・街に緑を・明日の緑をいまつくろう～ 』

#### (2) 全国都市緑化あいちフェアの統一主題

緑のある暮らしの明日を愛知から  
【花を愛し、緑のチカラを知る 全国都市緑化 愛・知 フェア】

### 1-3. 会場

- ・メイン会場は、愛・地球博記念公園(長久手市)とする。
- ・県内各地の公園や花の名所などをサテライト会場として位置づけるなど、全県展開を検討する。

### 1-4. 開催期間

平成 27 年 9 月 12 日(土)～同年 11 月 8 日(日) [58 日間]



## 1-5. 開催主体

- ・提 唱 : 国土交通省
- ・主催者 : 愛知県  
公益財団法人都市緑化機構
- ・運営主体 : 第32回全国都市緑化あいちフェア実行委員会  
※ただし、全県展開については、当該会場の運営主体とする。

## 1-6. 入場方式

- ・メイン会場 : 無料入場方式(行催事等によっては有料を検討)

## 1-7. 開場時間

- ・開場時間は、愛・地球博記念公園の開園時間と、人員配置や店舗等の準備、イベント等の撤収、会場の管理、植物のメンテナンス等を考慮し、以下の時間を基本とする。

9:00～17:00

※ただし、行催事等により、夜間利用を必要とする場合は変更も検討する。

## 1-8. 目標入場者数

- ・総来場者数: 100 万人以上 (サテライト会場を含む)



## 2. 基本理念

「自然の叡智」を知り、持続可能な社会への変革へ向けて歩み始めた 2005 年の愛・地球博。そして 5 年後の 2010 年秋、里山自然の豊かな愛知県で生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が開かれ、さらに、2014 年秋、持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議が行われる愛知県において、2015 年秋、愛・地球博記念公園をメイン会場に「緑豊かな街づくり」をテーマとする全国都市緑化フェアが開催される。

花や緑は、無機物を有機物に変え、そして食物や住まいなどさまざまな資源として、生きとし生けるものの活動の源となる。

花や緑はまた、環境保全、景観形成、レクリエーション空間の提供、防災・減災さらには地球温暖化の防止、ヒートアイランド現象の緩和、生物多様性の保全など、都市環境を良くし、私たちの生活に安らぎやうるおいを与えてくれる。

そして花や緑は、暮らしの中で笑顔や元気、交流をもたらすかけがえのない存在である。

私たちはこのフェアで、今一度、花や緑と共に生きることの原点に戻り、花や緑のある暮らしを思い浮かべる必要がある。

第 32 回全国都市緑化あいちフェアは、来場者はもとより広く全国の人々に、もっと「花」を愛し、もっと「緑」の力を知ってもらい、愛・知フェアとして開催する。

そして、「愛知万博からの 10 年」を踏まえ、「自然の叡智」というテーマや成果が暮らしの中の緑にどう浸透したかを発信するフェアとするとともに、緑の力の「見える化」等により、花や緑のある暮らしのすばらしさが実感・体感さらには体得できるフェアとする。

さらに、これからの花と緑のまちづくりに欠かすことのできない県民協働を積極的に推進し、フェアが一過性の効果で終わらずに時間的・空間的に連続し、花と緑のまちづくりとして持続継続することを目指す。



### 3. 開催の基本方針

愛知県らしい発信力をもった全国都市緑化フェアの開催を目指すとともに、事業運営、協働体制づくり、会場計画等、新たなフェアを試行する。

#### (1) 既存ストックの魅力を活用するフェア

##### ～愛知万博からの10年を振り返り、未来につなぐ～

全国都市緑化フェアのメイン会場となる愛・地球博記念公園は、「自然の叡智」というテーマのもとに展開した様々な愛知万博の理念や成果が継承されている空間である。

フェアでは、これらのストックを活用し、緑の分野で浸透した愛知万博の成果を表現し、未来へつなぐ愛知万博を経験した愛知県らしい情報発信力のあるフェアとする。

#### (2) みどりのチカラを体感するフェア

##### ～みどりのチカラを知り、そのチカラにワクワク、ドキドキする～

フェア来場者が、大人も子供も、新しい花や緑の技術、各種の展示、行催事に触れることによって「みどりのチカラ」を知り、心が楽しく、体が元気になる感覚を実感・体感できるフェアとする。

そして、高い満足感・充実感を味わうことのできるフェアとし、来場者が、花や緑のファンとなり、花や緑を暮らしに取り入れる契機としていく。

#### (3) 協働をエンジンとするフェア

##### ～県民が大活躍する舞台となる～

メイン会場で活動している「公園マネジメント会議」と連携し、各種の協働事業を展開するほか、メイン会場並びにフェアを構成する会場を、県内各地で緑化や環境改善に活躍する企業・団体・NPO・県民の参加の舞台として活用し、県民主導のフェアを実現する。

そして、フェアをきっかけに多彩な交流を生み出すとともに、来場者、参加者等のフェア関係者にフェア後の都市緑化推進、緑のまちづくりの活性化への継続的な関わりを求め、一過性に終わらない持続する緑化推進を目指す。

#### (4) 愛知県ならではのフェア

##### ～アイチにとことんこだわる～

モノづくり県、農業県(特に花き産業)などに代表される蓄積された愛知の力を活かし、各種業界、各種の異分野とのコラボレーション、歴史文化の活用、県産県消の推進など徹底して愛知にこだわり、フェアで展開する事業の一つ一つが愛知の魅力が詰まったフェアとする。